

モデル校における実践例（平成 26 年度）

長野市立西部中学校



重信みどりさん

NPO法人ラ・ヴィアン・ローズ
理事長

松本市内の公立学校の図書館司書として勤務するかたわら、乳がん体験者と家族の会の代表として、乳がん予防の啓発につとめている。

生徒の感想

がんと共に明るく生きている重信先生を見て、がんのイメージが変わりました。私が将来、がんになる可能性も十分あるし、家族がなる可能性もあるけど、もしそうなってしまったら、私も明るくがんに向き合いたいと思いました。でも、一番は、規則正しい生活を送って、がんをなるべく防いでいきたいです。

長野南高等学校



小泉知展さん

信州大学医学部包括的がん治療学
教授

大学の医学部で、がん専門の若手医師の育成を行うかたわら、専門医の立場から県内の学校で講演活動を行い、検診の大切さ等を伝えている。

生徒の感想

今日の講演会を聞いて、早期に発見するのと、進行してから発見するのでは、生存率が大きく異なることを知りました。そして自分もがんにかかる可能性があることを知ることができたので、これからの生活や健康について見つめ直していこうと思いました。